

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フラーブ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 6日 ~ 2025年 10月 4日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 9月 8日 ~ 2025年 9月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数での生活のため、個々の課題に対応しやすい。</li> <li>・グループ分けを行い、落ち着いて過ごせるように配慮をしている。</li> <li>・保育園等の大きな集団で生活ができるように、同じ活動（シール貼り、歯磨き等）を取り入れている。</li> <li>・言葉だけでなくコミュニケーション方法を取得できる取組みをおこなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの場所をコーナーで区切り、子どもが遊びにのめり込めるように設定している。</li> <li>・家庭生活に近い道具を使用する。（補助台・手作りの台）</li> <li>・感覚遊び、運動遊び、机上遊びのコーナーを分けて設置し子どもたちが好きな遊びを見つけやすい環境に設定している。</li> <li>・視覚支援カードやマカトンサインを使用し、日常で必要なやり取りができるように訓練している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団の生活により、集団で必要な「集団行動」「順番」「物の共有」の力を養うために、活動の場面でトレーニングできる計画をたてる。</li> <li>・これからも家庭での生活につながるように身辺の自立に向けた環境であり続ける。</li> </ul>

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様との関係が築きやすい。</li> <li>・平日、土曜と2回に分けた母子保育を企画しているため、就労している保護者様がいずれかの日に参加しやすくなっている。</li> <li>・職員と保護者様との話す機会が多く、相談しやすい雰囲気を心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保育の時間内で、保護者様のみの時間を設定している。</li> <li>内容は座談会もあれば、ブチ勉強会などを行っている。</li> <li>・小さな集まりで、お互いに話しやすい空間を作る。</li> <li>・職員間での情報共有、保育での目的、こどもへの接し方の共通理解がしっかりできている。</li> <li>・仕事やご都合に合わせ、参加しやすい日程を提案している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保育や土曜母子保育の利用を勧める中で、保護者様との関係を築くことや相談のしやすい雰囲気作りを意識している。</li> <li>・保護者様とのグループワークを通して、子育ての不安や大変さを共感する。それぞれの考え方を参考にしたり、自身の考えの整理につなげていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問との併用利用により、保育所やこども園での生活を一貫して支援することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、こども園での姿と児童発達での姿の違いや、お互いの生活の場で安心して過ごすことができるよう、同じ関りができるように情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎の時に、保育園やこども園の先生と話す時間が情報共有の時間という意識を持っている。</li> <li>・年に2～3回の連携会議を持つことで、こどもがどの機関で過ごしていても変わらない支援を受けられるようつなげていく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎の範囲が広いため、遠くの利用児童の到着時間に格差が出る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車のない家庭には送迎サービスが必要であるため、遠方であっても送迎車の計画を立てる。</li> <li>・台数とドライバーの配置を確実にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出発時間や経路を最短で思考しながら計画をたてている。</li> <li>・車内で、楽しい時間を持つことができるよう、ドライバーと添乗員を配置して、車内でもクイズ、歌や手遊びで過ごすようにしている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の集まりを月に1回開催をしている。就労をされている保護者様に対しても参加しやすいよう配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の予定を春先に発信して、参加を促している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催の日程を学校行事と重ならないように、可能な限り地域の学校情報を収集して年間の調整をする。</li> </ul>

3	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育所等利用されている利用児童の保護者様と会う機会が少ない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・お迎えだけでなく、自宅以外の保育園などへの送迎をするため、保護者様と直接会う機会が少なくなっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・こまめな情報共有をおこない、家族との連携を大切にしていく</li></ul>
---	---	---	---